

知床・図柄入りナンバープレート (ご当地ナンバー)の導入

ナンバープレートを活用して地域の魅力を全国に発信!

平成 29 年5月、国土交通省において、地域振興・観光振興にも活用すべく、地方版図柄入りナンバープレート(ご当地ナンバー)の導入が公募されたところです。

本町では、知床周辺地域の一体感を育み、観光を促進しながら地域経済を活性化させるため知床・地方版図柄入りナンバー導入について、検討・協議を進めることを目的とした検討協議会(網走市、斜里町、小清水町、根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町:今後、参加する市町村が増えることもあります)に参加しています。



ご当地ナンバーとは?

「ご当地ナンバー」とは、地域振興・観光振興を目的として、自動車のナンバープレートの地域名称を独自に定められるよう導入された制度です。

ご当地ナンバーの導入を希望する場合は、平成29年11月中旬に北海道へ導入意向を表明し、要望書を提出することになります。ただし、対象地域内の登録自動車数が10万台を超えていること、または、複数の自治体が連携し、かつ、登録自動車数が概ね5万台を超え、表示名称が当該地域を称するものとして相当程度の知名度を有すること(世界遺産所在地等)が基準となっています。



ご当地ナンバーの寄付金

図柄入りナンバープレートは、寄付金付き(カラー)と寄付金なし(モノクロ)の2種類から選択することができます。寄付金は、地域交通のサービス改善、観光振興などに活用します。

なお、図柄なしのご当地ナンバープレートも選択可能ですので、3種類の中から選択することになります。

図柄入りナンバープレートの例(イメージ)

知床 500
あ 12-34

ご当地ナンバーの図柄無し

知床 500
あ 12-34

ご当地ナンバーの図柄入り
モノクロ(寄付なし)

知床 500
あ 12-34

ご当地ナンバーの図柄入り
カラー(寄付あり)

知床・図柄入りナンバープレート(ご当地ナンバー)が導入されると

■ 導入された場合、どのタイミングで変更となりますか？

対象地域内で、新しく自動車を購入した場合や新たなナンバーを付けたいと希望した場合は変更することができます。それまでは既存の名称(釧路)のナンバープレートのままです。

なお、導入後は対象地域内で新規に既存の名称(釧路)は選択できなくなります。

対象となる自動車は、登録自動車の自家用及び事業用、軽自動車の自家用となります。

■ 導入のスケジュールは？

平成29年11月中旬に北海道へ導入意向を表明した後、平成30年3月に北海道が国へ導入申込み、平成30年12月に図柄の提案、平成32年度以降に、ご当地ナンバーの交付が予定されています。

■ 寄付金の流れは？

寄付金については、まず対象地域に協議会を設置し、その組織に寄付金が配分されることになります。その中で地域交通のサービスの改善であるとか、観光振興などに活用するための具体的な事業の検討を行い寄付金が活用されることになります。

なお、組織には関係自治体のほか、地方運輸局、交通事業者、観光事業者などが参画することになっています。

■ 寄付金の金額は？

寄付金の額は、関係市町村の協議で決定することになります。現在のところは決まっていません。

■ その他のお金はかかりますか？

通常、交付手数料がかかりますが、図柄入りの場合は地域住民の需要次第ということもあり、ナンバープレートの原価を算出する必要があるため、金額については未定です。

図柄なしについては、従前どおりの交付手数料となります。

知床・図柄入りナンバープレート(ご当地ナンバー)の導入について、ご意見を募集しています。

pick
up!

知床・図柄入りナンバープレートの導入について、地域名称を「知床」として協議を進めています。つきましては、地域名称「知床」等、ご当地ナンバー導入について、町民の皆様のご意見を広く募集しておりますので、ご意見、お問い合わせがありましたら

▶ 別海町役場総務部総合政策課企画振興担当

TEL 75-2111 内線 2213、2214までお願いします。